

# パブリックコンテナサービスを用いた 超分散テストベッドの構築

董 允治<sup>2,1</sup> 中田 秀基<sup>1,2,a)</sup> 谷村 勇輔<sup>1,2,b)</sup>

**概要:** IoT センサの普及に伴いセンサデータの爆発的増大が想定される。このような環境ではエッジにおいて前処理を行うことでデータ量を低減するとともにクラウドでの処理を軽減するアプローチが有効であると考えられる。このような環境で動作するミドルウェアの負荷に対する特性を評価するには大規模なテストベッドが必要だが、実機でこのようなテストベッドを用意するのはさまざまな観点から現実的ではない。我々はクラウド上のコンテナサービスを利用することで、テストベッドを構築する方法を提案する。オーケストレーションサービスを用いることで容易に短時間で大規模なテスト環境を構築できることを確認した。

**キーワード:** Kubernetes

YUNZHI DONG<sup>2,1</sup> HIDEMOTO NAKADA<sup>1,2,a)</sup> YUSUKE TANIMURA<sup>1,2,b)</sup>

**Abstract:**

**Keywords:** Kubernetes

## 1. はじめに

本稿の構成は以下のとおりである。

## 2. 背景

[1]

## 3. おわりに

今後の課題としては、以下が挙げられる。

- hoge

謝辞

## 参考文献

- [1] : MQTT: The Standard for IoT Messaging, <https://mqtt.org/>.

<sup>1</sup> 産業技術総合研究所  
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

<sup>2</sup> 筑波大学  
University of Tsukuba

<sup>a)</sup> [hide-nakada@aist.go.jp](mailto:hide-nakada@aist.go.jp)

<sup>b)</sup> [yusuke.tanimura@aist.go.jp](mailto:yusuke.tanimura@aist.go.jp)